

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2021年8月）

目 次

新型コロナウイルス

◆ 8月31日現在の感染情報等	2
◆ 8月31日現在のスロバキアのワクチン接種率	2
◆ 7月の変異株ゲノム解析結果	2
◆ Covid Automat（感染状況に基づく郡別の規制措置導入基準）の変更	3
◆ 7月の新規感染者内訳	3
◆ 感染者数の増加	3

内 政

◆ 政党支持率調査結果	4
-------------	---

外 政

◆ ベネシュ布告を巡るハンガリー一国会議長の発言に対するスロバキアの抗議	4
◆ タリバンによるカブール制圧に関するスロバキア政府の対応	5

経 済

◆ スロバキア国鉄による中国～欧州間の貨物列車運行のための補助金要求	6
◆ Plzensky prazdraj Slovensko 社によるモルト生産設備への追加投資	7
◆ スロバキア・ポーランド国境のガスパイプライン接続	7

別添：主要経済指標

※ 本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆8月31日現在の感染情報等

- (1) 8月のPCR検査に基づく新規感染者数は2418名（7月は1045名）、8月の死者数は8名（7月は29名）。
- (2) 8月31日時点のPCR検査に基づく累積感染者数は39万5122名（前日比+199名）。8月31日の検査数は6546件。
- (3) 8月31日時点の累積死者数は1万2548名（前日比+0名）。
- (4) 8月31日時点の1回目の累積ワクチン接種者数は238万2544名（前日比+2555名）、2回目の同接種者数は223万1017名（前日比+4956名）。

◆スロバキアのワクチン接種率

英オックスフォード大学の研究者が運営する統計サイト「Our World in Data」に基づく各国のワクチン完全接種率の割合（8月31日現在）は以下のとおり。スロバキアのワクチン接種率は周辺諸国の割合を大きく下回っている。

- (1) スロバキア：40%
- (2) ポーランド：50%
- (3) チェコ：53%
- (4) ハンガリー：56%
- (5) オーストリア：58%
- (6) EU平均：58%
- (7) 欧州平均：48%

◆7月の変異株ゲノム解析結果（8月3日付TASR通信）

8月3日、公衆衛生局は、7月下旬のゲノム解析結果を公表し、スロバキアではアルファ型変異株に代わりデルタ変異株が優勢になった旨明らかにした。7月上旬の時点では、アルファ変異株が優勢であった。

- (1) 7月22日のゲノム解析結果：陽性サンプル181件のうち、112件がデルタ変異株、66件がアルファ変異株、3件がその他の変異株。
- (2) 7月27日のゲノム解析結果：陽性サンプル87件のうち、75件がデルタ変異株、12件がアルファ変異株。
- (3) 7月末現在、これまでに計293件のデルタ変異株が確認されている。（当館注：9月7日現在のGISAID情報によれば、スロバキアではこれまでに1171件のデルタ変異株が確認されている。）

◆Covid Automat（感染状況に基づく郡別の規制措置導入基準）の変更（8月10日付政府布告）

8月10日、政府は、デルタ変異株による感染拡大及びワクチン接種の進展を踏まえ、Covid Automat（感染状況に基づく郡別の規制措置導入基準）の変更を承認した。新たなCovid Automatは8月16日以降に導入される。

（1）感染状況レベルは、従来の7段階（モニタリング、注意レベル1～2、警報レベル1～4）から、5段階（モニタリング（緑）、注意レベル（オレンジ）、危険レベル1（赤）、危険レベル2（ボルドー）、危険レベル3

（黒））に変更される。

（2）各郡の新規感染者数及びワクチン接種率等に基づき、郡別感染状況レベルが決定される。感染状況が悪化している郡でも、50歳以上のワクチン接種率が76%以上の郡では感染状況レベルが2段階下がる。50歳以上のワクチン接種率が65%以上の郡では同レベルが1段階下がる。郡別感染状況レベルは原則毎週更新される。

（3）郡別感染状況レベルに応じて、営業規制措置、イベント開催規制措置、マスク着用義務措置が郡別に導入される。各措置の内容は、①ワクチン接種者のみが対象、②ワクチン接種者、陰性証明書保持者、新型コロナウイルス感染症治療者のみが対象、③全ての人を対象、の3つのカテゴリーによって分類される。小売店、飲食店、イベント主催者等は、上記①～③のうち、どのカテゴリーを対象にして営業（イベント開催）するのかを選択する。規制措置の内容については、別途公衆衛生局布告によって発表される。

◆7月の新規感染者内訳（8月18日付公衆衛生局プレスリリース）

（1）7月に確認された新規感染者数は計1234件（6月は3201件）。

（2）368件（全体の30%）が国外から持ち込まれた（スペイン73件、クロアチア68件、英国34件、チェコ31件、キプロス12件、ギリシャ9件等）。

（3）デルタ変異株の確認件数は197件で、うち126件が国外から持ち込まれた（スペイン21件、英国14件、チェコ9件、キプロス7件、クロアチア5件等）。

（4）336件（全体の27%）が無症状者。

（5）ワクチン完全接種者の感染者数は170人（全体の感染者数の13.8%）。

◆感染者数の増加

（1）8月31日、199名の新規感染者が確認された（PCR検査に基づ

く。5月20日以降で最も多い数値)。

(2) 9月8日、478名の新規感染者が確認された(PCR検査に基づく。5月5日以降で最も多い数値)。

(3) 9月8日付保健省プレスリリースによれば、直近1週間で実施したゲノム解析の結果、陽性サンプル359件のうち356件がデルタ変異株であった(デルタ変異株の占有率は99.2%)。

内 政

◆政党支持率調査結果(8月19日)

世論調査機関AKOによる政党支持率調査の結果は以下のとおり(括弧内は支持率に基づいた議席数)。

政党	AKO	2020年選挙
Hlas-SD(声・社会民主主義)	19.5%(38)	—
SaS(自由と連帯)	14.7%(29)	6.22%
Smer-SD(方向・社会民主主義)	11.3%(22)	18.29%
OLaNO(普通の人々・独立した人達)	9.8%(19)	25.02%
PS(プログレッシブ・スロバキア)	8.9%(17)	※6.96%
Sme rodina(我々は家族)	6.6%(13)	8.24%
KDH(キリスト教民主運動)	6.3%(12)	4.65%
Republika(共和国)	4.5%(-)	
LSNS(我々のスロバキア)	3.9%(-)	7.97%
Aliancia(同盟)	3.3%(-)	—
Za ludi(人々のために)	3.0%(-)	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

外 政

◆ベネシュ布告を巡るハンガリー国会議長の発言に対するスロバキアの抗議 【クヴェール・ハンガリー国会議長の記念碑除幕式出席(8月4日付Dennik N紙電子版)】

8月2日、クヴェール・ハンガリー国会議長は、スロバキアのシャモリーン市で行われた第二次世界大戦後のチェコスロバキアによるハンガリー系住民追放に関する記念碑の除幕式に出席した。1945年8月2日、ドイツ系及びハンガリー系住民のチェコスロバキア国籍剥奪に関するベネシュ布告が発令された。クヴェール議長は式典において、「スロバキアのハンガリー系住民に対して行われたことは、神と人類に対する罪である。謝罪無しに許すことはできな

い。ハンガリー人は謝罪を受けてこなかったので、この罪を許していない。ハンガリーとスロバキアは、歴史上の不正を解決すべきである」と述べた。

同記念碑は、シャモリーン市、ハンガリー系コミュニティ党（SMK）青年部、地元の市民団体によって設置された。同式典には、クヴェール議長の他、地元の政治家も出席したが、スロバキア政府の代表者は出席していなかった。

【コルチョク外相の反応（8月4日付外務・欧州問題省プレスリリース）】

歴史問題を繰り返し蒸し返そうとするハンガリーの政治家の手法は、スロバキアとの良好な二国間関係に向けた努力に反するものである。ハンガリーで2番目に高位の政治家（国会議長）がスロバキアにおいて自身の歴史観を表明することを完全に拒否する。我々スロバキアの政治家も、ハンガリーの歴史的役割を含む過去について意見を表明する機会を有しているが、ハンガリー国内の式典ではそのようなこと（歴史問題に対する意見表明）は決してしない。（ハンガリー国内で歴史問題に関する意見表明をしない理由は）ハンガリーに対して敬意を示しているからだけではなく、戦後処理は解決済のトピックであり、現在と未来の我々の関係に集中したいからである。

【ヘゲル首相の反応（8月8日付首相府プレスリリース）】

クヴェール・ハンガリー国会議長のシャモリーン市訪問及び同市での発言を契機とするここ数日間のスロバキア・ハンガリー関係の動向を残念に思う。同議長の発言は、社会に緊張をもたらし、良好で友好的な近隣関係に対する共通の関心を妨害している。

◆タリバンによるカブール制圧に関するスロバキア政府の対応

【コルチョク外相の反応（8月15日付スロバキア外務・欧州問題省プレスリリース）】

人命、自由、基本的人権を最高の価値として見なしているスロバキアは、アフガニスタンの全てのアクターに対して、更なる流血を回避し、同国の全ての住民の権利を保障するよう要請する。民主主義陣営の一員であるスロバキアは、暴力による権力掌握に基づく政権や、虐殺と人権及び自由の侵害を政治手法として用いる政権を容認できない。

【スロバキア人及びアフガニスタン人協力者のカブールからの退避】

8月19日、ヘゲル首相、コルチョク外相、ナジ国防相は記者会見を開き、スロバキア市民16名と、アフガニスタンでのスロバキア軍の任務に協力していたアフガニスタン人8名を、カブールからスロバキアに退避させた旨発表した。スロバキアの軍用機「スパルタン」が20名を輸送し、チェコの軍用機が4名を輸送した。コルチョク外相は、「到着した8名のアフガニスタン人は、スロバキアへの難民庇護を申請した。スロバキアの移民当局は、難民庇護条件

を満たしているか否かについて半年以内に決定する必要がある」と述べるとともに、「スロバキアは、EU及びNATOに協力していた10名のアフガニスタン人を別途受け入れる用意がある」と付言した。

【コルチョク外相のアフガニスタン避難民救助に関するステートメント（8月27日付外務・欧州問題省プレスリリース）】

スロバキアは、スロバキア人の親族であるアフガニスタン人20名をスロバキアへ出国させるため、外交ルートを通じてノルウェーの避難機の20席を確保していた。しかし、不幸なことに、彼らはタリバンのチェックポイントを通り過ぎず、空港にたどりつくことができなかった。コルチョク外相は、「（本件につき）誠実に申し訳ないと思っている。我々は避難機に席を確保していたにも関わらず、現地の状況に対して影響力を行使することができなかった」と述べた。

【カブール国際空港付近でのテロ攻撃に関する外務・欧州問題省ステートメント（8月27日付外務・欧州問題省プレスリリース）】

ハミド・カルザイ国際空港付近で起こった攻撃によって、命の危機を感じずに暮らしたい多くのアフガニスタン人家族へさらなる悲しみがもたらされた。スロバキアは文民や人道的活動を行っている国際部隊に対するテロ攻撃を決して受け入れない。我々は同盟国やパートナーと協力し、テロリストの標的や隠れ家になることのない平和なアフガニスタンとなるよう支援を続けていく。

【スロバキアの滞在許可等を有するアフガニスタン人のカブールからの退避】

8月31日、ヘゲル首相、コルチョク外相、ナジ国防相は記者会見を開き、8月30日にスロバキア軍が28名のアフガニスタン人をカブールからスロバキアに退避させた旨を発表した。同28名のうち、6名はスロバキアの滞在許可を有しており、11名の女性と11名の子供がスロバキアとの結びつき及びスロバキアの滞在許可（ママ）を有している。ヘゲル首相は、今回の退避作戦が大成功であった旨述べた。

経 済

◆スロバキア国鉄による中国～欧州間の貨物列車運行のための補助金要求（8月2日付 Dennik N 紙電子版）

2020年、中国～欧州間の貨物列車の輸送量は前年比で56%増加した。中国～欧州間の貨物列車の大部分は、中国を出発し、カザフスタン、ロシア、ベラルーシを経由しているが、ベラルーシの代わりにウクライナを経由しポーランド、ハンガリー、スロバキアを通る代替ルートもある。しかし、ウクライナ経由の貨物列車輸送は、ロシア・ウクライナ間の緊張の高まりやビジネス上の障壁により停滞している。また、ベラルーシ経由よりもウクライナ経由の方

が貨物列車の運行コストが高い。現在、中国～欧州間の貨物列車の90%は、ポーランドのマワシェビツェ (Malaszewicze。ベラルーシ国境付近) の貨物積み替えターミナルを経由している。

スロバキア国鉄によると、スロバキアの貨物積み替えターミナルは、年間1240両の貨物列車 (中国～欧州間の貨物列車の10%に相当) を取り扱う能力を有している。しかし、2020年にスロバキアを経由した中国～欧州間の貨物列車の数は僅か17両 (同0.14%に相当) であった。中国側はスロバキアに対し、コンテナ1台あたり165ユーロの割引を求めている。スロバキア国鉄は、割引代金の一部しか補填できないため、コンテナ1台あたり約100ユーロの財源が不足している。スロバキア国鉄は、年間500台の貨物列車の運行させるために、2022年に200万ユーロ以上の補助金をスロバキア政府に要求している。

◆Plzensky prazdraj Slovensko 社によるモルト生産設備への追加投資 (8月10日付 Dennik N 紙電子版)

今年、Plzensky prazdraj Slovensko 社 (アサヒビール傘下。プレショウ市近郊に所在) は、モルト生産設備の近代化 (大麦の発芽及び乾燥のための設備の改良) のために86万ユーロの追加投資を行った。同社は、去年から今年にかけて、計170万ユーロをモルト生産設備のために投資したことになる。2020年、同社は、二酸化炭素排出量及びエネルギー消費量を削減する目的で、大麦の精選機及び緑麦芽の焙燥機の交換のために約85万ユーロを投資していた。同社は、ハイネケン・スロバキア社 (ニトラ県フルバノヴォ市に所在) と並ぶスロバキア2大ビールメーカーの1つであり、売上額は年間1億ユーロを超えている。

◆スロバキア・ポーランド国境のガスパイプライン接続 (8月10日付経済省プレスリリース)

8月10日、スロバキア・ポーランド国境において、建設中のガスパイプラインが接続された。両国は、スロバキアのヴェルケー・カプシャニ (コシツェ県) とポーランドの南東部を結ぶ全長164 kmのガスパイプラインを建設中である。同パイプラインは、現在90%が完成しており、2022年第1四半期に稼働予定である。同パイプラインが完成すれば、ノルウェー産ガスやバルト海の港湾に運ばれるLNGがスロバキアに輸送されることになる。同パイプラインの輸送能力は、ポーランドからスロバキア方面が47億立方メートルで、スロバキアからポーランド方面が57億立方メートルである。

(了)

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

